

## 練馬区の医療と介護の連携について（検討資料）

	課題	論点
在宅医療体制の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後増加する在宅療養患者が医療を受けられる環境を整える必要がある。</li> <li>・ 容体が悪くなったときや家族などの負担軽減を目的とした短期入院（レスパイト）に対応する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅療養を担う医師を増やす必要があるのではないか。</li> <li>・ 在宅療養を担う歯科医師を増やす必要があるのではないか。</li> <li>・ 在宅療養を担う薬剤師を増やす必要があるのではないか。</li> <li>・ 在宅療養を担う看護師を増やす必要があるのではないか。</li> <li>・ 現在は在宅を担っていない医療職（医師や歯科医師、薬剤師、看護師等）が、在宅療養に協力いただいてはどうか。</li> <li>・ レスパイト等の短期入院に対応する後方支援病床の利用を促進してはどうか。</li> </ul>
医療と介護のさらなる連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者や家族を支えられるよう、医療や介護に関わる専門スタッフの連携を深める必要がある。</li> <li>・ 患者情報等を専門スタッフが共有できる環境を整える必要がある。</li> <li>・ 認知症患者を早期に発見し、地域で暮らせるよう適切な支援につなげる必要がある。</li> <li>・ 病院や施設の入退院（所）と在宅療養が、互いにスムーズに移行する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センター単位で、医療や介護に関わる専門スタッフの連携を深めてはどうか。</li> <li>・ 在宅医と外来医の連携を深めてはどうか。</li> <li>・ 患者情報の共有に、ICTを活用したシステムを導入してはどうか。</li> <li>・ 地域の診療所（医、歯、薬）が、認知症患者を早期に発見できないか。</li> <li>・ 病院の入退院連携の部署と、医療や介護に関わる専門スタッフの連携を深めてはどうか。</li> </ul>